

R6年学童における野球規則等変更への対応

2024. 3.17 武蔵野市少年野球連盟

項目	全日本軟式野球連盟	東京都軟式野球連盟	武蔵野市軟式野球連盟
指名打者	指名打者制を導入。大谷ルールは採用しない。	同左	同左(春季大会より採用)
捕手(審判員含む)用マスクのSG基準義務化	2025年から採用。	同左(試合前にチェック)	同左
学童用バット	一般用バットを使用する場合、ウレタン、スポンジ等の素材の弾性体を取りつけたバットの使用を2025年から禁止。少年用バットの使用制限はなし。	同左	同左 連盟規則(9)項の規定が古いので、2025年に見直す予定。
投手用グラブ	2色まで認める、色等の制限あり。	同左	同左
投手の投球までの時間制限(ピッチクロック)	採用	2024年は採用しない。	同左
公認学童コーチ	ベンチ入りする「監督、コーチ、もしくは代表者」の最低一名の資格保有が必要。	2026年までは、ベンチ入りする監督、コーチ、代表、マネージャー、スコアラーのうち最低一名資格保有が必要。2027年からは全軟連に合わせる。 試合前に資格証を確認。	資格保有は必ずしも必要ではない(春夏秋は市からの委託大会のため)。全日本学童予選、新人戦をどうするかは2025年の検討事項。
スポーツマンシップの徹底	ヤジの禁止。	同左 審判から注意する。	同左
シートノック時のベンチ前でのサイドノック	認める。	同左	従来から認めている。

項目	全日本軟式野球連盟	東京都軟式野球連盟	武蔵野市軟式野球連盟
次のイニングに投げる投手の投球練習	ベンチ外野側角からポール方向のファウルテリトリーでの軽いキャッチボールを認める。	同左	従来から認めている。
監督、コーチの年齢制限	20 歳以上	同左	特に規定しない。 市の団体登録で指導者として登録できるのは 18 歳以上。
控え選手がグラウンドでできることの制限	詳細を規定。試合中ホームインした選手等をベンチから出て迎えることは禁止。	同左	同左
守備側のタイムの回数制限	3 回、延長戦では 1 回追加は従来通り。「監督が 1 イニングに二回行くと投手を交代しなければならない」という規則は適用しない。ただし、回数にはカウントされる。	同左	「監督が 1 イニングに二回行くと投手を交代しなければならない」という規則は、従来通りとする。 2025 年に見直すか検討。
没収試合の防止	できるだけ没収試合は避ける方向。選手の替え玉以外は没収試合としない。例えば、登録時に背番号を間違えた等の記載ミスは修正させて試合続行。	同左	従来通り (従来から柔軟に対応)
死球の判定	「打者が投球を避けようとするのが条件である。 <u>(身体が打者席の捕手よりでなく後方向に移動すること)</u> 」と記載されていたが、 ()内下線部を削除する。	同左 今年からは、バッターボックス内に来たボールで当たった場合、死球と判定される可能性が高くなる。	同左